

令和3年度第1回 栃木県立日光明峰高等学校 学校運営協議会 議事録

日 時 令和3年5月21日（金）

10時30分～12時00分

場 所 栃木県立日光明峰高等学校

図書室（南校舎2F）

1 開 会

2 校長挨拶

今年度の入学生は40名、少子化ながら厳しい結果となった。今年度は待ったなしの状態で、これまで以上に中学生・保護者にアピールしなければならない。在籍している生徒に対しても、切磋琢磨し、主体性を育てる指導をしていきたい。

1 出席者紹介

（1）規約の確認

教頭：内規の第2項に関して、協議会の事務局について述べられているが、今年度より事務長の後に「主幹教諭」を追記。

（2）委員の確認

- ・加藤茂委員の所属を古河電工ビジネス&ライフサポート株式会社 日光支社長 へ訂正
- ・松本委員の所属に日光支所長を追記

（3）会長・副会長の承認

会長に石井委員、副会長に小林委員を推薦→承認

4 連 絡

（1）令和2年度活動状況報告について

教頭：活動状況の4について期日を令和3年2月17日と訂正

（2）今年度の予定について

5 協 議

会長：次年度の募集に向けて、今年度も引き続き評論家になるのではなく、一人一人が実働部隊となって取り組んでもらいたい。

（1）R3（2021）年度学校経営方針の承認について

校長：学習指導要領の改訂に伴い、昨年度末の運営協議会で示したものから若干の変更を行った。さらなる教育活動の充実に力を入れていく。

明峰だよりについて、昨年度、教員の負担感から隔月発行と決まったが、発行しない月に関しても校長だよりのような形で発行していく。

中学校の先生方にも本校の教育を理解してもらいたいと思っている。お互

いの授業をみることの出来る場を設け、交流の機会を増やす。

様々な生徒がいる中で、自身の価値を認識できるような教育を行っていく。
→承認

(2) 令和3年度入試結果について

主幹教諭：表のR3において、地区別計の県外を4名、合計を40名に訂正

54名を超えた年と他の年を比べた時、旧今市市内の受検者数が減少している。鹿沼市に関しても減少傾向にある。旧今市市、鹿沼市、県外の中学生に対してどのようなPR活動を行っていけばよいか検討したい。

アイスホッケー部以外の男子生徒が少ない。

教頭：サポーターハウスに関して、次年度も受け入れ先を確保できる見通しで動いている。夏休みでの体験入部でおおよその人数がわかると思うので、整備していく。

(質疑応答)

委員：観光科や福祉科の創設について以前より意見があったがどうなっているか。

→教頭：他校においても新設学科については人数募集に苦労していると聞く。

普通科であることを強みに、広い視野を持って、地域の良さを学んでいく機会を増やしていく。

校長：本校は入学時より探究活動や授業を通して進路を見据え4つのコースから選択できる。他の普通科高校に比べたら多様な選択ができる。

委員：アイスホッケー部の希望者も減少するおそれがある。地域の担い手となる人材を本校から出してほしい。また、福祉の担い手も育てていけるような教育を行っていることがわかれば希望者も増えるのではないかと思う。

委員：宇都宮から通学している生徒について、中学校でもバス料金に対しての問い合わせが多い。交通費の負担が軽くなるようにできれば、通学面の問題で躊躇している家庭が目を向けてくれるのではないか。

委員：進路決定の幅が広いことが伝わるのか。観光科、福祉科と名前をつければわかりやすく、本校に目を向けるきっかけになるのではないか。また、普通科であるが多様な進路実現が可能であると、どのようにPRしていくのか。

→校長：昨年度、文星芸術大学と協力して4つのコースについてポスターを作成した。

次年度入学生から総合的な探究の時間を3年間で5単位としている。

「日光学」を始めとした他の学校では学べないことをPRしていく。

委員：今年度の入学生には、入学理由の調査をしているのか。

→委員：進路を決定していく上で、決定権は保護者・子どものどちらが主となっているのかについて、PTA役員理事会において、保護者の視点からど

のような問題・課題が見て取れるか、なぜ他の高校ではなく明峰高校を選んでくれたのか、アンケートを行いたいという話が挙がった。次回の運営協議会が8月なので、結果を報告できるよう行っていく。また、選択肢となる進路が複数の場合、安心して通うことのできると思える学校かどうかをHPで調べるのだと思う、充実させてほしい。

（3）魅力化推進について

担当：今在籍している生徒にとっても本校を残したいと思える学校にしていきたい。

授業改善を行っていき、自身の言葉で理解し、表現できる生徒の育成を図っていく。生徒が学校に参画している意識を持たせたい。

中学校との連携・交流を図る。研究授業にお互い参加できるよう調整を図る。

委員：昨年度地域福祉の講演会を行った。その後地域福祉についてどう思っているかアンケートを取った際に、多くのアイデアを出していただいた。今年度はその中から実践できるものを行っていききたい。

委員：目指す生徒像を理解し、しっかり取り組んでいけば、これから生きていく上での素地作りができ、将来の自分の生活・仕事に生きていく。それに加え、きめ細やかな指導が受けられるとアピールすることが必要である。学校評価アンケートに「この学校に来て良かった」という意見が出ている。早急に小委員会などを立ち上げて、地域へのアピールの方法を話し合いたい。

委員：本校と直接関わりの無い方がどのような印象を持っているか、調べても良いと思う。

委員：危機感をもって行わなければならない、入学者数を分析しないと次年度も同じような結果になってしまうのではないか。

委員：交通費の負担の部分は、市内の他の高校に対してもなのか、本校のみなのか、検討が必要である。入学者数の議論も大事だが、そもそも県の方針は変わらないのか、少人数制の高校として残す手もあるのではないか、再編計画の話を教育委員会の方でも議論していただきたい。

委員：明峰便りに保護者の声を入れてみてはどうか、学習して楽しいという子どもの意見を保護者の方からも広報したい。

会長：少人数教育の中で伸びていく子どももいる、少人数制教育についての議論もしてもらいたい。

交通の面も民間にも力を貸してもらえないか議論しても良いと思う。

保護者視点での話は今まで出なかった議論である。深めていくべきであろう。

小委員会について、一日体験学習のある8／20までに行いたいと思う。小委員会を立ち上げて良いか、承認いただきたい。→承認

6 その他

2／7（土）NHK小さな旅に本校アイスホッケー部も出演

5／8（土）RADIOBERRYにアイスホッケー部キャプテンが国体PRの為に出演

5／22（土）宮ラジに本校生3名が出演

6／4（金）～ 県総体でバドミントン部が男子団体の部で勝ち抜き、関東大会への出場権を獲得した。

校長：スピード感を持って、対応できることは行っていきたい。まずは次年度募集で54名の確保を目標として、動いていきたい。

次回の運営協議会は8／3を予定。

7 閉 会